

は　じ　め　に

平成 29 年度は、「滋賀県基本構想」および「滋賀県行政経営方針」の 3 年目を迎え、具体的な成果が求められる重要な年度となります。そのため、基本構想の基本理念に掲げる「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現に向け、「新しい豊かさ」を具現化すべく、また同時に、施策を持続的に展開していくために、安定的で持続可能な財政基盤の確立が不可欠であり、「今」だけでなく、将来を見据えて財政健全化の推進を図ることを基本に、予算編成に取り組みました。

とりわけ、「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」をエンジンとしつつ、基本構想に掲げる 7 つの重点政策に基づく施策を着実に推進し、県民が夢や希望を抱き、ともに幸せや豊かさを実感できるよう、具体的な成果を出していくため、施策構築に当たっては、「若者の希望の創造」、「国内外から人やものを呼び込む新たな価値の創造・発信」、「だれもが健康で、活躍する社会づくり」および「琵琶湖や山と人々の暮らしとのつながりの再生」の 4 つの視点に重点を置き、より効果的な施策展開に向けて取り組みを進めることとしました。

こうした結果、平成 29 年度の当初予算の規模は、5 年ぶりに前年度当初予算を下回りました。

また、安定的で持続可能な財政基盤の確立に向けて、引き続き歳入・歳出両面から財政健全化の取り組みを進め、財政の健全性を示すプライマリーバランスは、4 年連続して黒字を確保したほか、県債全体に占める臨時財政対策債を除く実質的な県債残高の割合についても減少傾向を維持しているところです。

県の予算は、県民の皆さんの暮らしに密接にかかわるものであり、本県の財政がどのような状況にあるのか、またどのような運営をしているのかなどを広く知っていただく必要があることから、財政事情として年 2 回（5 月と 11 月）、定期的に公表しています。

今回は平成 29 年度予算の概要、平成 28 年度下半期における予算の補正状況やその執行状況、そして公営企業の業務状況などについてご報告するとともに、経年変化で見た県財政の状況や各種財政指標の状況などをお知らせします。

目 次

I 滋賀県財政の動向

| | |
|-------------------|----|
| 1 経年変化で見る滋賀県財政の状況 | 1 |
| 2 財政指標から見た滋賀県財政 | 11 |
| 3 財政健全化に向けた取り組み | 13 |

II 一般会計および特別会計の状況

| | |
|--------------------|----|
| 1 平成 29 年度予算の概要 | 15 |
| (1) 当初予算編成の背景 | 15 |
| (2) 当初予算編成の基本方針 | 16 |
| (3) 当初予算の規模等 | 17 |
| (4) 当初予算のポイント | 19 |
| (5) 一般会計当初予算の内容 | 26 |
| (6) 特別会計当初予算の状況 | 33 |
| 2 平成 28 年度下半期の財政状況 | 34 |

III 公営企業の業務状況

| | |
|--------------------|----|
| 1 モーターボート競走事業の業務状況 | 38 |
| 2 病院事業の業務状況 | 40 |
| 3 工業用水道事業の業務状況 | 44 |
| 4 水道用水供給事業の業務状況 | 48 |

IV 健全化判断比率および資金不足比率の概要

| | |
|-----------------------|----|
| 1 健全化判断比率および資金不足比率の概要 | 53 |
|-----------------------|----|

| | |
|-----|----|
| 付 表 | 57 |
|-----|----|
